広報 かじき

No.293 昭和54年 7月号

発行／加治木町
編集／総務課
印刷／㈲吉屋印刷

柁城小学校

夏本番!!

楽しい水泳を

カッと照りつける太陽，大空に立ちはだかる入道雲，いよいよこれからが〝カッパ天国〟水泳のシーズンです。

プールも海水浴場もチビッ子でいっぱい。水に入る前は準備運動を十分にやり，また，子どもだけの海水浴，危険な場所での泳ぎはやめて，楽しい夏を過しましょう。

◆人口22,190(＋64) 男10,619(＋39) 女11,571(＋25) 世帯数 7,212(＋34) 54.6.1現在（ ）前月比

本町社会教育や町発展のため 貢献された四一四人を表彰

53年度町総合表彰式

昭和五十三年度本町総合表彰式は、五月三十一日、町福祉センターで行われ、町民生活の向上等に貢献された四一四人を表彰しました。

表彰者は本町の青少年の体力、健康作りや、広く町民のスポーツ振興、地区住民の住みよい地域づくり、奉仕活動などに多大な功績をされた皆さんをはじめ健康に留意され、国民健康保険運営にご協力のあったかた、町財政の根本である納税関係にご協力いただいた組合長さんや納税組合、そして町内事業所の優良従業員や、各産業振興面などに優秀な成績をあげられた個人や団体、グループの代表者など四一四人でありました。

表彰を受ける町内事業所の優良従業員さん

式では、町長あいさつ、審査報告のあと、表彰者一人ひとりに表彰状が贈られた。つづいて来賓祝辞があり、受賞者を代表して田中部落の鬼塚俊男さんが「本日はこのような盛大な表彰式のもと栄ある表彰状をいただき感謝にたえません。これを機会に明るい町づくりのため一層頑張りたい」とお礼のことばをのべられました。

これからも一層ガンバリたいとお礼のことばをのべる鬼塚さん

各部門ごとの主な受賞者は次のとおりです。

教育委員会関係

竜門小PTA（現会長松葉瀬義美）＝アスレチックフイルド（竜門の森）を造成、青少年の体力、健康作りに貢献。

西迫雅子（中塩入）＝南九州病院筋ジストロフィー等奉仕活動を全町的婦人会活動として継続実践された。

仮屋崎鶴彦（田中）＝広く町民の体力、スポーツ振興に貢献された。

鬼塚俊男（田中）西倉厚（端山）上別府豊（内原田）村下久信（東塩入）鮫島馨（迫上）鶴田義直（赤谷）＝いずれも地区公民館長として住みよい地域づくりと社会教育、体育の振興に貢献。

保健衛生関係

上妻金彦（布越）＝永年にわたり国保運営協議会委員として、国保事業の健全な運営指導に貢献。

税務関係

納税組合長として町税の納入に貢献。

上別府豊（内原田）荒武綾子（川原）中摩多美子（竹下）岩崎為則（西諏訪）湯浅三男（新町）大迫ノブ（江湖）吉屋正憲（向江町）宇都宮隆（西塩入下）杉田イサ（須崎）上枝節子（高井田）

経済関係

町内事業所の優良従業員。

服部政信（大英建設㈱・隼人町）吉福良敏（大英建設㈱・西塩入下）藤井幸雄（クロバー洋裁店・於里）西平田ハツエ（加治木バッテリー・楠園）西とみ子（㈱たにぐち衣料品店・港町）小湊国安（加治木瓦斯㈱・垂ノ口）寺師ツヤ子（ひさごや百貨店・垂ノ口）徳留敏昭（福元時計店・岩原西）西田勝治（コカコーラ㈱・今町）桑畑章一（コカコーラ㈱・弥勒）山之内薩男（㈱松田建設・里ノ下）川野キヨ子（無邪気・札立）西川スミエ（酒匂石油店・姶良町）伊地知小夜子（有桐原家具店・柳田）徳永洋子（南九州医療サービス㈱・吉原）

ガスもれ・仏前のローソク ちょっとの油断が大事故に

各地でガス事故が発生しています。どの事故を見ても、ちょっとした油断や不注意が大きな事故になっています。

かねてから次のことに気を配りましょう。

○ボンベは倒れないようにしてあるか。

○ゴム管はヒビ割れしていないか。

○使わないガス口にはゴムキャップがはめてあるか。

○異常な臭いを感じたら、すぐガス販売店に届けて点検してもらいましょう。

また、夏祭りやお盆が近くなってきました。提灯やご仏前のローソクに気をつけましょう。

※ ローソクは火の熱や自然の暑さで曲りやすくなり、火事の原因となります。

※ ローソクを支える金具や取付部をよくたしかめて使いましょう。

「これぐらいと思う油断を火が狙う」

＝姶良郡西部消防組合・消防本部＝

暮らしを支える 石油

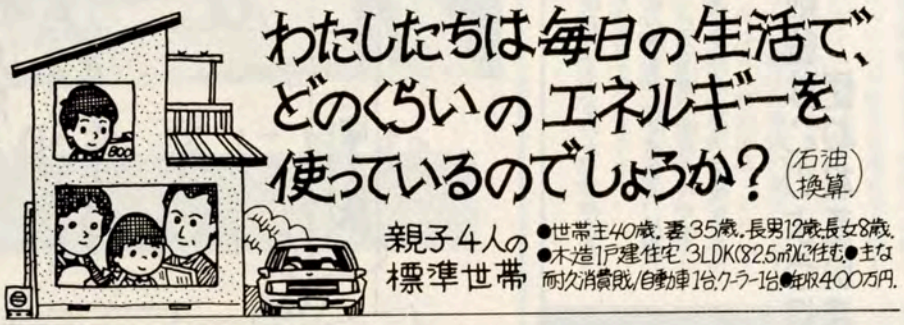
エネルギーを大切に

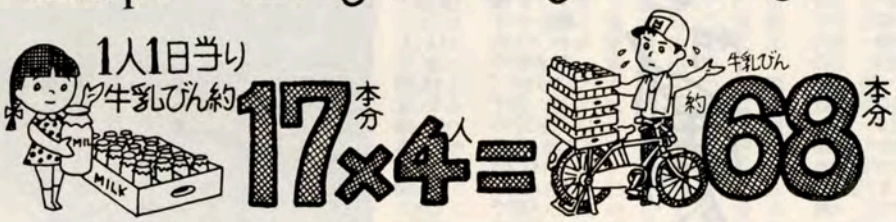
石油、電気、ガス――これらのエネルギーなしには、わたしたちの暮らしは一日たりとも成り立たないといっていいでしょう。

とくに、わが国の場合は、産業・輸送・民生すべてのエネルギー需給の約七割を石油でまかなっており、その石油の九九・七％は海外から輸入しています。わたしたちの暮らしを支えるエネルギーは、そのほとんどを〝輸入石油〟に依存しているのです。

資源に乏しいわが国としては、文字通り、一滴たりとも石油をおろそかにはできません。

〈参考〉政府は、IEA（国際エネルギー機関）加盟各国の合意に基づき、約五％の石油消費の節減対策を実施しています。





わたしたちは、日常の生活でいったい、どれくらいのエネルギーを使っているのでしょうか。

科学技術庁資源調査所がまとめた「ライフサイクル・エネルギーに関する調査研究」による試算では、家庭生活を営む上で、日本人一人一日当たり、牛乳びん約十七本分の石油を使っている勘定になります。

牛乳びん約十七本分の石油――これは電気やガスなど直接使うエネルギーだけでなく、住居や衣服、食料品など生活必需品を作るのに使われた間接エネルギーも含めて、石油に換算したもので、親子四人の標準世帯では牛乳びん約六十八本分に相当します。

これをもとに、全国民が一年間に使う家庭用エネルギーを計算しますと、石油換算で約一億五千万キロリットルになり、国全体の年間総エネルギー消費量の約四割に相当します。

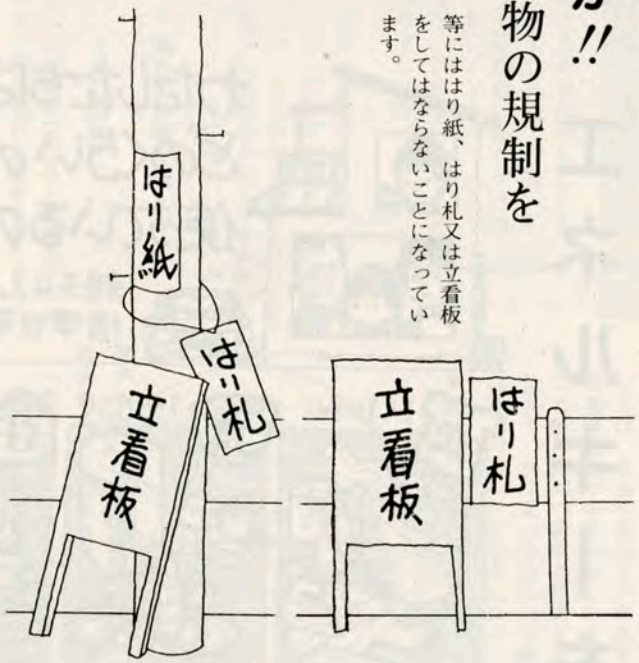
ご存じですか!!
屋外広告物の規制を

屋外広告物を掲示する場合は、まちの美観風致を維持し、公衆に対する危害を防止するため、屋外広告物法及び屋外広告物条例によって規制されています。

したがって、屋外広告物を出すときは、知事の許可が必要です。

次のようなものには、屋外広告物を出すことを禁止されています。

信号機、街路樹、トンネル、高架構造物、分離帯、保存樹、銅像記念碑の類、公衆電話ボックス、郵便ポスト、消火栓、橋、擁壁、石がき、照明塔、タンク類、その他物件「電柱、街灯柱、架線柱」等にははり紙、はり札又は立看板をしてはならないことになっています。



交通反則金はこのように使われています

スピード違反一万円、信号無視六千円、駐車違反五千円――車を運転される方は反則金についてよくご存じと思います。無免許運転や酒酔い運転などは別ですが、それ以外の交通違反をした人は、この反則金を納めることによって刑事裁判や家庭裁判所の審判を受けずにすみます。

ところで、この反則金は、銀行や郵便局に払い込むのですが、その後これらのお金がどのように使われているのか、ご存じない方もおられるようです。

払い込まれた反則金は、全額いったん国庫に納められた後、交通安全のために、交通安全対策特別交付金(特交金)として、そのまま都道府県、市町村に交付され、使途は法令で、歩道、ガードレール、道路照明をはじめ、横断歩道や道路標識などに使うよう限定されています。

この反則金が警察官の給料や警察の建物の新改築、警察の車両の整備などのために使われているのではないかという疑問もあるようですが、そのようなことは一切ありません。

また、〝特交金〟の交付額は、人口密集度や事故発生件数などにより決められ、都道府県や市町村ごとの取り締まり件数には全く関係がありません。

〝水難事故を防止しよう〟

いよいよ本年も水の季節がやってきました。毎年この時期になるとなくなった方や行方不明の方が多くなっています。加治木警察署管内でも六月から九月にかけて昨年は三名がなくなり、一名が救助されています。このような水難事故を防止するため、次のようなことに気をつけましょう。

一、悪天候下の無謀な釣りは絶対やめましょう。

二、子どもは指定海水浴場とプール以外では泳がないようにしましょう。

三、親子会や、その他団体で海水浴に行った時は、こどもから絶対に目を離さないようにしましょう。

四、お年寄や、体の不自由な人は水辺に近よらないようにしましょう。

五、飲酒したあと泳いだり、水辺をふらつかないようにしましょう。

六、危険な遊びを見かけたら一声かけてやめさせましょう。

竜門の会

雲脱ぎて火の山近し巻き芭蕉　徳留　末雄

旅疲れ実梅彩づくばかりなり　横山　江南

下げ潮の速き河口や夏燕　加藤　白柳

一角は卯の花垣や郷士館　川崎　黒兎

白菖蒲吾子晩節を清くせよ　松永　愛子

椎の花雨滴も匂ふ山路かな　宮脇　思川

夏燕山の湖辺の村小さし　井上　透山

紫陽花の雨の雫に点しけり　田代　俊泉

少年の持ち蜘蛛いくつ勝ちにけむ　鶴田　耕

たばこは
町内のお店で
買いましょう

話題

道路の横断「ハイ」お母さんも手をあげて

町内の幼稚園や保育所などで構成している、町幼児交通安全クラブ連協（大工園純孝会長）では、本年度の事業の一つであるリーダー・サブリーダーの研修会を、このほど錦江幼稚園で開き、町内十一の園や所から八十人のお母さんたちが参加しました。

県交通安全対策室職員の指導で錦江小の交通公園を利用して「正しい道路の渡り方」や、事故にあいやすい「飛出し」や、「車の直前直後の横断」など、実際に自動車を使っての実技や交通安全を取入れたゲームなど、限られた時間ギリギリまで研修しました。

なお、錦江幼稚園の園児たちもこの研修会に賛助出演。「お礼に…」指導のお姉さんが演ずるパクパクと大きな口をあけて語るわんぱく人形の腹話術に大きな笑いが続いていました。

お母さんがた、ご苦労さまでした。

お母さんも実際に車を使って手をあげ「正しい横断」をお勉強

ブランコ等ぬりかえをする会員たち

美化作業に励む

ローターアクトクラブ

きれいな、住みよい町にしようと加治木ローターアクト（上荒磯巧会長・会員二十七人）では、六月十日、町内、端山神社境内の清掃とブランコなど遊具施設の塗りかえや修理を、それぞれペンキやホーキを持ちより奉仕作業を行いました。

このグループは二十八歳までの社会人で、男十六人、女十一人の二十七人。昭和五十二年三月発足この会は奉仕活動と親睦を目的としており、道端に投げすてられたアキ缶拾いなどの美化活動をする一方、町内の各グループとチャリティーフェスティバルやバザーを開いて、集まった益金を町社会福祉協議会に贈るなどして、お互いの人間関係づくりとボランティア活動に励んでいます。

漁協キス釣り大会

大物賞は宝蔵さん

六月十七日、錦海漁協（春山鉄翁組合長）主催のキス釣り大会が須崎海岸前など錦江湾で行われました。

参加者は、親子連れから女性まで一八五人。午前四時三十分港に集合。三十隻の船にそれぞれ分乗し、五時出港、十時に帰港までの捕獲量で順位が決定されました。

キス重量賞では、垂ノ口の長倉政志さんが一キロ六八〇グラム、大物賞では、垂ノ口の宝蔵重行さんが一五五グラムの大物を釣りあげ優勝しました。

成績は次のとおりです。

㊀長倉政志（垂ノ口）②米盛勝（国分市）③大井知泉（天神）④中西健一（姶良町）⑤川窪吉行（蔵王団地）

キス大物賞
宝蔵重行（垂ノ口）

アメ大物賞
梅木則雄（高井田）

雑魚大物賞
小森和昭（鹿児島市）

ゴチ重量賞
猪目忠義（高井田）

少年特別賞
田中修一（姶良町）

女性特別賞
郡山めぐみ（須崎）

心配ごと相談

毎週木曜日午前中

町福祉センターで相談を受けています。

婦人会だより

七月、夏です。子どもたちの夏休みももうすぐ。夏休みのプランができましたか?、省エネルギー時代で水も、電気も節約第一を心がけ無駄のない使い方をいたしましょう。

また、夏バテしないよう、させないよう、家族の健康には十分気をつけましょう。

婦人ボランティア講座開設

国の補助事業である婦人ボランティア講座を開設しました。

本年度は婦人会員を中心に開設されます。

口ではボランティアと簡単に言いますが、本当の意味は何か、またどうすることなのかなど認識していない面があるようです。私たちはこの講座で学びながら、老人や幼児、障害者に対するボランティアの実習も行います。

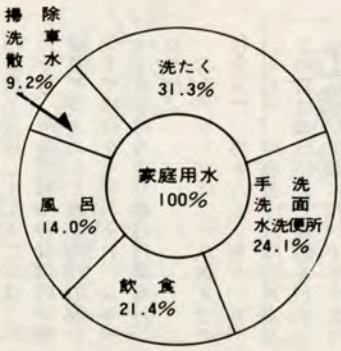
ほんとうのボランティア精神を学び、与えられる喜びより与える喜びの大切さを知り、地域社会づくりにとり組みたいものです。

暮らしと省エネルギー

＝水の節約＝

水の需要はどんどん増えています。増え続ける需要をまかなうためには、水源の確保と浄水場などの整備拡張が必要でありますが、これには巨額の費用と時間がかかります。水は安いものという時代は過去のものになりました。

●私たちは家庭用水をこのように使っています。



・蛇口の開閉は節水のカギ

蛇口をいっぱい開くと一分間で二十リットル。蛇口のひねりかげん、流し放しに注意することが節水のきめ手です。

・ためすすぎは水の節約

すすぎ方によって洗たくで使う水の量もちがってきます。洗たくのすすぎは脱水してからためすすぎにしましょう。

・洗車はバケツで

ホース洗いでは蛇口を全開にして十五分間流しっぱなしの場合約三八〇リットルの水を使います。バケツ洗いなら約1/7の水ですみます。

・風呂の残り湯の活用

洗たくや掃除、散水などにも残り湯を生かして使うようにしましょう。

〝わたしたちひとりひとりが主人公、今一度自分の生活を見直してみましょう。〟

母と子の会話

さあ、楽しい夏休み。

子供たちは、規律正しい学校生活から離れて、家庭中心の毎日を送ることになります。ふだんの生活では味わえない、夏休みならではの貴重な体験をすることができ、過ごし方次第では有意義な長期休暇となるでしょう。

半面、その日その日をただなんとなく過ごすというような無計画な姿勢では、あり余る時間をもて余し、精神的にもだらけ、二学期によい影響を与えない場合が多いようです。

家族の一員として、規則正しい節度ある生活習慣を身につけさせましょう。

夏休みの生活

自分の力にかなう「目標」を立てよう

そのためにも、夏休み中の生活プランを立てることが大切です。生活設計は、一方的に親が決めるのではなく、といって子供一人に考えさせるのでもなく、子供の自主性を尊重しながら話し合いで作り上げるのがよいでしょう。子供が自主的な態度で規則正しい生活を送るには、親の協力が必要だからです。

さて、その生活プランに、夏休みでなければやれそうにない「目標」を一つか二つ加えてみるのもよいでしょう。

「百メートルは泳げるようになりたい」「朝顔の観察記録をまとめたい」――など。子供の願いが実現するよう、お母さんは側面から援助してあげてください。

子供が、自分の力にかなう目標を見いだし、挑戦し、自主的にやりぬく過程で、強い意志なり物事を全うする心なりが養われるのです。夏休みならではのチャンスといえましょう。

ゴミ収集場所はいつも清潔にしましょう。

※ ためしてみませんか!!

梅酢の利用

赤しそが出まわって、梅にしそをつけこむ頃ですが、もうおすみですか?

梅干しを作って残った梅酢は、こしてからビンにつめ保存しておきましょう。塩が強いので、即席漬けや青背魚の酢じめに使うとき以外は、水やダシで割るとよく、すし酢やサラダのドレッシング、あえ物などに酢の代わりとして使ってみましょう。またお腹の具合の悪い時、少量を水でうすめて飲むとよいと言われています。

〝おむつ一枚運動〟にご協力を!!

婦人会では、毎年一回〝おむつ一枚運動〟を実施し、婦人会員の心からのおくり物として、寝たきりの方々などへおとどけして喜ばれております。

会員外の方で、この運動にご賛同くださる方がありましたら次のようなことに注意していただき婦人会の方へお届けください。

木綿であること○清潔なもの○出来上り一㍍○お名前をお書きくださると幸いです。

棒を戦場に必死の闘い

名物〝くも合戦〟

古い伝統をもつ加治木名物「くも合戦」は、町観光協会（大山綱男会長）主催で六月十日、町福祉センター大ホールで開催。ことしも町内外からくもを手にした出場者、それに報道関係、アマチュアカメラマンそして珍しいくも合戦を一目見ようと町内外から集まった観客約一千人でにぎわいました。

このくも合戦は、三百九十余年前、島津義弘公が朝鮮出陣の際、藩士の士気を鼓舞するため黄金ぐも（女郎ぐも）を集めて闘争させたのが始まりといわれ、伝統行事の一つとなっています。

出場したのは大人二十五人、少年四十三人で、一人三匹しか出せないのでくもの数は二百四匹。これらのくもは南薩や大隅方面から採集したものを、住宅や庭先などで約二、三週間前からコン虫などを与え、戦いを前に特訓を重ね育てあげたものばかり。

まず、大山会長のあいさつのあと、竹内審判長が審査説明。つづいてミス優良ぐもの選考が行われた。これは、体型、光沢や足の長さなどについて審査されるもので小陣の浜田重治さんのくもが本年のミス女郎グモとして選ばれました。このあとかみしも姿の竹内親男さんと新福貢さん二人の行司によって、少年の部、大人の部に分かれいよいよ合戦が展開。

「見合って、見合って」「それ行け」と一本の棒を戦場に格闘するくもに、持主や観衆の掛け声も勇ましく「それいけいけ、いまじゃ、かんちけ」と、ところかまわずカゴイマ弁で、クモキッゲの方々の大きな声がとびかう。こうして二百四匹の死闘が続くこと四時間。会場は集まった約千人の観衆で終日にぎわいました。

成績は次のとおりです。

優良グモ

①浜田重治（小陣）②瀬戸口悟（小陣）③日高一兵（知覧町）

合　戦

▽大人の部

優北森幸広（小陣）②今別府義雄（鹿児島市）③池田秋義（港町）④安楽忠（下新道）⑤瀬戸口美信（小陣）

▽少年の部

優今別府恵（鹿児島市）②川畑耕也（鹿児島市）③瀬戸口忠（小陣）④安楽究（下新道）⑤郡山隆

王将戦（三勝グモ）

▽大人の部

①今別府義雄（鹿児島市）②今別府義雄（鹿児島市）

▽少年の部

①浜田直子（小陣）②今別府恵（鹿児島市）

無言の闘士に行司と観衆の目が光る

ふるさとをきれいにする美化活動にすすんで参加を！

＝7月22日＝

本町子ども会育成連絡協議会（大工園純孝会長）では、国際児童年を記念して「ふるさと美化活動」を、七月二十二日（日）町内いっせいに清掃など美化活動を展開することになりました。

これは、町内の一人ひとりが一同にふるさと美化活動に参加することによって美しく、住みよい郷土づくりの意識を育て、次代をになう青少年の健全育成を図ると同時に子ども会等、青少年団体の充実発展を期して行われます。

この事業の趣旨を十分にご理解いただき、部落ぐるみで、積極的に清掃作業などに参加しましょう

文化財めぐり 36

島津久徴（錦水）墓

日木山・黒　川

日木山の加治木島津家墓地内にある。久徴は知覧の領主島津久峰の嫡子で、幼名を太郎次郎元服して久容と称し、明和九年八月二十二日、二十一歳で加治木家を相続し、名を兵庫久容と称し、のち久徴と改めたが、錦水と号し、源天錫子嘏の別号もあった。有名な名山楼詩集の著作があり、伊藤瓊山・秋岡冬日等の学者を招聘し、毓英館の創設とともに学問の奨励普及につとめた。

寛政十二年、家督を実子久照に譲り、文化六年九月十一日死去。法名錦水院殿天錫子嘏大居士。

おしらせ

国民年金 〝さつま狂句〟 募集

県では、国民年金法施行二十周年を記念して、古くから鹿児島に伝わる「さつま狂句」コンクールを実施し、国民年金に対する関心を深めるため広く県民のみなさんから募集することにしています。

○ テーマ＝①国民年金（こくみんねんきん・ねんきん）②特例納付（とくれいのうふ・とくれい）

○ 応募規定＝官製はがきに住所氏名、年齢、職業を明記し、一人何点でも可（一枚のはがきに五点以内）

○ 応募先＝鹿児島市山下町一四―五〇、県庁国民年金課内さつま狂句コンクール係

○ 締切＝昭和五十四年九月二十日

○ 表彰＝十一月の予定

交通事故の相談は 自動車保険相談センターで

交通事故の原因が多様化した今日、損害保険業界では、各社全店舗の交通事故相談所と共に「自動車保険請求相談センター」を設置し、一切無料で自動車損害賠償責任保険並びに任意自動車保険（対人対物）の請求についての相談・受けています。

最近は、保険契約内容も多様化しましたし、また、事故の原因も複雑化しておりますので、保険を利用しての解決にお困りの方も多いことでしょう。

交通事故でお困りの方は、当相談センターをお気軽にご利用ください。

場所＝鹿児島市西千石町一七―五　太陽生命ビル八階（電話〇九九二―二六―八一四〇）

鹿児島自動車保険請求相談センター。

うぶ声

五月二十一日から六月二十日受付分

出生者	保護者	部落
今村和則	静	楠原
新原のぞみ	昭博	萩原
平山洋子	秀雄	蔵王団地
内囿さなえ	正一	春日団地
堀ノ内宏行	正紘	岩原東
安満良尊	良明	今町
水永信一	喜代信	岩原西
内村　円	幸雄	永原
佐々木孝志	博孝	下浜
永井友樹	勝	田中
竹下佳史	和彦	東諏訪
田代龍司	敏男	竹下
草留千恵	謙二	高井田
林　和徳	昇平	高井田
高田光志	昭儀	蔵王団地
福元　保	隆裕	高井田
畑瀬佳奈	元美	東塩入
福森一朗	晴夫	蔵王団地
福留直哉	勝義	西江口団地
前田裕子	郁夫	西江口団地
伊庭　豊	俊康	蔵王団地
桑幡久志	繁	蔵王団地
久保田奈央子	壽	須崎
津曲友和	和己	田中
大宮路一久	久見	辺川下
坂口洋文	耕二	端山
中森志穂	春志	萩原
神宮通夫	勉	柳田
芝原英二	年男	茶碗屋
大谷美由紀	卓郎	西江口団地
上別府希三子	秋則	江口団地
尾崎成子	徹	高井田
後野まどか	孝	萩原
下京田直美	正治	春日団地
中窪一成	誠	小鳥
佐藤恵利	征夫	柳田
日高美由紀	広美	竹下
池田芳朗	國善	永原
増田真奈美	一秀	田中
若松浩太郎	敏弘	萩原
山口厚樹	厚志	天神
冨岡翼竜	利治	蔵王団地
佐々木寿恵	順一	西江口団地
石原　星	秀男	蔵王団地

今月は国民健康保険税二期の納期です。

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円　井手向　小安　幹雄（ワサ83）
五万円　下新道　桑幡　次郎（喜寿75）
一万円　辺川中　神園　松男（ナツ66）
五万円　須崎　郡山　利春（栄治81）
十万円　吉　原　上村治加子（フク95）
五千円　西塩入下　南　親男（金次郎89）
五万円　柳　田　小川　重年（不二夫71）
五万円　下新道　津崎　純男（ツ子91）
五千円　西江口団地黒江勇熊（キク74）
二万円　岩原西　池田　栄（ニワ80）
三万円　田　中　堂屋敷アヤ子（亀井ムメ91）
二万円　小　陣　湊　清治（福次キヨ84）
一万円　弥　勒　横山　邦彦（チカ80）
二万円　上　嶽　樗木ハルエ（実義66）
三万円　赤　谷　前田　等（ハルエ57）
二万円　下新道　八重倉　優（十助83）
二万円　西塩入下安楽　市次（ミカ74）

＝町育英奨学資金へ＝

三万円　下新道　桑幡　次郎（喜寿75）
一万円　上　嶽　樗木ハルエ（実義66）
一万円　西塩入下安楽　市次（ミカ74）

＝町国民年金協議会へ＝

二万円　吉　原　上村治加子（フク95）
二万円　下新道　津崎　純男（ツ子91）
一万円　中　野　下小牧スエマツ（満雄74）

七月の在宅医

1日　平山　医院　本町
8日　玉利　病院　本町
15日　牧　医院　朝日町
22日　松本　医院　木田
29日　加治木温泉病院　木田

▽…診療時間は午前九時から午後五時までが原則です。

▽…当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください。